

防災(3) 日本防災士会奈良県支部

項目	内容
会員数	平成22年3月1日現在
◇会員数	142名
◇会員構成	男女別(男138名、女 4名)
	上記の内、JPの郵便局長が約半数。また、年齢構成は、60才以上の定年退職者が過半数。
会の特徴	
◇会の特徴	防災士会は、NPO法人日本防災士機構が行う試験を受け「防災士資格」を取得した者で構成されており、会員の特技や経験を生かし奈良県下を中心に地域における防災活動のリーダーとなることをめざす。また、防災士のネットワーク、スキルアップを目指した研修会の開催と、各地域での防災研修などの手伝いをし、災害時には、公的支援が到着するまでの間に、被害の拡大の軽減に取り組む。また、会員には、現役消防・警察関係やOB、地域の自主防災リーダー、など専門的知識を有する者が在籍するので、そのスキルを活かした防災研修活動の実施を行っている。
◇過去の災害、想定される災害	東南海、南海地震及び、各地で起こりえる水害等の地域での防災活動。

設立年月日	平成20年 4月27日
設立のきっかけ	平成20年に、有志が奈良県内の防災士資格者へ防災士ネットワークの確立を呼びかけて結成。
目的・キャッチフレーズ	防災に対する基本的な知識と技能を活かし「災害の備え」を担い、社会全体の継続的な防災力向上をお手伝いし、平常時には地域や職場で防災活動に取り組むボランティア
予算規模	年間経費 一人2,000円
主な活動内容	
◇防災活動	防災士会には、各分野で活動する者がいるので、防災士会主催の防災研修会の開催の他、各自主防災会や自治会からの要請を受けての防災研修会への講師派遣。(家具転倒防止、ロープワーク、防災ニュース等広報紙の発行のアドバイス、タウンウォッチング等)。奈良県下の市町村での防災計画策定への参加及び、特定郵便局長会とのタイアップによる防災研修会等。
◇その他の活動	災害は発生時には、災害救援派遣をめざす。
主な連携先	日本防災士会本部及び各都道府県支部、JP郵便局長会、奈良県社会福祉士会、奈良市防災センター

防災(3) 秋留地区自主防災会(三郷町)

項目	内容
世帯数・人口	平成22年1月1日現在
◇世帯数	秋留地区 55 世帯 三郷町全体 9.516 世帯
◇人口	秋留地区 210人 三郷町全体 23.011 人
◇内65歳以上人口(高齢化率)	秋留地区 70人(33 %) 三郷町全体 5.621 人(24.4%)
地域の特徴	
◇まちの特徴	三郷町は、先史時代の遺跡、古墳等が数多く残されている信貴山麓の丘陵地。大阪への地理的条件で宅地化が進み人口増加している。秋留は三郷町の北東部に位置し、隣接して宅地化がすすんでおり、古くは信貴山朝護孫子寺への宿場跡の面影が残る旧地区です
◇過去の災害、想定される災害	昭和57年王寺町葛下川の氾濫により被災 今後想定されるのは集中豪雨等による土砂くずれ、液状化現象など
◇犯罪発生状況、想定される犯罪	平成21年17件の事案(器物損壊3、車上・部品ねらい6、スーパーでの万引き4その他4等) 今後は空き巣、強盗犯罪が予想される

設立年月日	平成18年11月1日(準備期間6ヶ月)
設立のきっかけ	阪神・淡路大震災の5つの教訓
目的・キャッチフレーズ	目的:「地震や風水害等の災害による地区住民から死者を出さないよう今後5年間で取り組む」 モットー:「安全は結果であり 常に存在するのは危険ばかりである」
予算規模	年間経費 約¥50.000
主な活動内容	
◇防災・防犯など一体的な活動	
◇防災活動	家具等の転倒、飛来・落下防止対策、消火器・消火栓取り扱い訓練、救命講習会、タウンウォッチング・防災マップ、ロープワーク、奈良市防災センター体験学習、自主防災活動ニュース発行
◇防犯活動	勢野駐在所速報等の周知
◇その他の活動	三郷小学・中学校等へのボランティア活動
主な連携先	

1/8

“安全は結果であり、常に存在するのは危険ばかりである”

家具等の転倒、飛来・落下防止対策を学ぶ
(みて・触れて・体験して)

奈良県安全・安心まちづくりサロンの事業
(河合町にて H22.1.22)

① 自信と意欲に満ちた
ビス打ち体験!

日本防災士会 奈良県支部 (三郷町 秋留地区自主防災会)

2/8

秋留地区自主防災会の特徴

- ◇ 三郷町は信貴山の麓に位置し、農業公園(のどか村)や先史時代の遺跡・古墳等が多く残されており大阪への地理的条件から宅地化が進み人口増加している
- ◇ 秋留は三郷町の北東部に位置し、信貴山寺への宿場跡の面影が残っている旧地区です
 - ・ 地区の人口構成(高齢化傾向)
 - 210人 / 55世帯
 - 65歳以上 70人(33%)町全体で24.4%
 - 13~64歳 115人(55%)
 - 13歳未満 25人(12%)
 - ・ 地区の強み(専門技術者が多い)
 - 防災士認証取得者4名と自治会役員5名
 - 消防分団員:3名
 - 会社・建設等の技術関連の有限会社:11社

3/8

秋留地区自主防災会の活動指導案

- (1) 家具等の転倒、飛来・落下防止対策
- (2) 自主防災活動アクションプランの作成・評価
- (3) 自主防災活動ニュースの発行
- (4) タウンオッチングと防災マップづくり
- (5) 防災訓練(工事中)

その他定期的に推進中のもの
救命講習会と三角巾による応急手当、消火器の取り扱い訓練、消火栓・ホース等の取り扱い訓練、ロープワークと簡易担架づくりなど

4/8

活動指導案(1)・秋留地区自主防災会

- ◇ タイトル
家具等の転倒、飛来・落下防止対策を学ぶ(みて、触れて、体験して)
- ◇ 活動の概要
講演及び実技によって家具等の転倒、飛来・落下防止対策の普及率の向上を図る
- ◇ 目標・ねらい
 - ・ 自分と家族の被災防止
 - ・ 各家庭での推進

5/8

家具等の転倒、飛来・落下防止対策(その1)
事例をみて学ぼう

“防災対策の最優先は 家族の安全から”

12. 家族の安全対策 (その1)
家具等の転倒、飛来・落下防止
15. 家族の安全対策 (その4)
電子・オーブンレンジの飛来・落下防止対策

6/8

家具等の転倒、飛来・落下防止対策(その2)
現物をみて触れて学ぼう

- ・ 金具の種類、単価とその用途 (アイデア金具のいろいろを紹介)
- ・ ビスの種類、単価とその用途 (アイデア固定法とその強度を紹介)

8. 市販・手製の多目的金具 (展示)
金具の用途は現物を見ながら防災アドバイザーが解説
11. 取り付用ビスのいろいろ (展示)
取付ビス(スリット・スロット・トントリ)など

体験して学ぼう

②私でもOK! 手製マツ体験

- ・市販の家具敷きマット ¥480/2枚(樹齢50 X450)
- ・手製マット(ダンボール、新聞紙、通判紙、古リヤと両面接着テープ)で代用

(効果) 體驗は市販品と変わらず! いづれも必ず裏面固定は必要!

③ガラス飛散防止フィルムの効果と破壊体験

- ・市販のガラス飛散防止フィルム ¥800/m²
- ・百貨店フィルムとスプレーのり55の代用で ¥150~200/m²

(効果) 體驗は市販品と変わらず! スプレーのりでやや曇るのが難点!

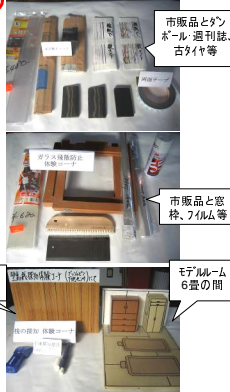
④どこなの? 壁裏の検知! 探知体験

- ・探知センサーとブザーで検知の位置を探知
- ・センサー: ¥1,850 ブザーピン: ¥950

(効果) センサー及びブザーピン探知良好! 針先に注意!

⑤6畳の間! 家具の配置を考えよう!

- ・私こつら、お父さんあつら。! 家具とお父さんの配置換えから!



まとめ

(成果) 研修会実施後のアンケートの結果

- ① 97%の方、初めての参加。次回から会長や隣近所を誘って参加したい。
- ② 91%の方、家具固定の必要性と金具や固定方法が解り易く理解できた。
- ③ 97%の方、実技後、インパクトドライバーの取り扱いが少し練習すれば可能と自覚。
- ④ 90%の方、明日からでも少しずつ自宅の家具固定を実施していきたい。
- ⑤ 95%の方、経験者派遣依頼や地区毎に経験者による組織化して対応したい。(自分達の手でなんとかしたい意欲・意識が顕在化)

(チャレンジ事業に参加して)

今回の「家具等の転倒、飛来・落下防止対策研修会」では、7つの反省・改善点と8つの収穫を得ることが出来ました。今、求められているのは現場と直結した推進活動であると痛感しているところです。これを機会に、少しでも多くの方が自分と家族の被災防止のため各家庭で推進して頂けるよう普及率の向上を目指し継続的改善を行っていく所存です。研修会の機会を与えて下さった河合町 森嶋課長、奈良県安全・安心まちづくり推進課の皆様には心から感謝致します。

“ご安全に”